



皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も千葉信用金庫の考え方や経営方針ならびに業績などを皆様にご理解いただくため、第101期ディスクロージャー誌を作成いたしました。

本誌を通じて千葉信用金庫に対する一層のご信頼を賜ることができましたら幸いに存じます。

令和5年度の日本経済は、コロナ禍から脱却し、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲、株価の高騰等、経済には前向きな動きが見られた一方で、原材料価格の高騰や、円安の進行、人手不足等、地域経済にとって厳しい側面が見られました。

この様な状況の中、昨年度に続き、第7次中期経営計画「100年先への架け橋となれ」～輝くまなざし、導け未来へ!～においてコアプランとして営業力の強化、組織力の強化を掲げ、サポートプランとして顧客支援やサポートの深化、期待に応える人材の育成・確保、自ら考え果敢にチャレンジできる環境等の整備に積極的に取り組みました。

今後もお客様を理解する力、お客様の課題を発見し、解決に導ける能力を備えた職員の育成に力を入れるとともに、資金繰り支援はもとより、経営改善支援やビジネス

マッチング等に一層注力し、お客様の課題解決に資する活動に尽力してまいります。

おかげさまで当金庫は令和6年6月4日をもって創立100周年を迎えました。職員から募集したキャッチフレーズ「つなぐよ絆 あふれる笑顔 皆様のおかげで100周年」は、地域のお客さまへの感謝の気持ちと地域社会とともに歩んできた軌跡を一言で表現したものです。

お客さまへの感謝の想い、地域社会との絆を未来へ繋ぐべく、次の100年に向けての第一歩は既に始まっており、令和6年4月より、第8次中期経営計画「未来は今、この瞬間から」がスタートし、当金庫の到達すべき将来像である「千葉信用金庫ビジョン」の達成に向け、役職員一丸となり取り組んでいます。

これからもお客さまに対する感謝の気持ちを常に抱き、お客さまに寄り添い、ともに歩んでいくという基本姿勢を忘れずに、地域社会やお客さまから頼りにされる「ベストパートナー金融機関」を目指していく所存です。

末筆ではございますが、皆さまの一層のご発展を心より御祈念申し上げますとともに、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年7月

理事長

宮澤 英男

# 千葉信用金庫 理念

## 私たちの使命

### ともに歩む。

地域とともに歩み、経済・文化の発展のお役に立ちます。  
地域の人々の、豊かな明日を築くお手伝いをします。

## 私たちの経営

### たしかな明日へ。

先進性と健全さをあわせ持った経営で、心のこもったサービスを提供します。  
人を活かし福祉の充実をはかって、働きがいのある職場をつくれます。

## 私たちの行動

### 誇りを持ってはつらつと。

常に能力を磨き、より高い目標にチャレンジします。  
誠意と熱意あふれる行動で、お客さまの信頼と期待に応えます。

## プロフィール (令和6年3月末現在)

設立	大正13年6月4日
本店所在地	千葉市中央区中央2丁目4番1号
出資金	18,040百万円
預金残高	1,139,367百万円
貸出金残高	606,142百万円
店舗数	49店舗
職員数	763名



## 営業区域

千葉県千葉市、木更津市、成田市、習志野市、市原市、船橋市、市川市、松戸市、佐倉市、八千代市、東金市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、茂原市、君津市、袖ケ浦市、八街市、印西市、香取市、館山市、鴨川市、富津市、我孫子市、柏市、流山市、白井市、富里市、山武市、旭市(旧香取郡干潟町に限る)、南房総市、大網白里市、印旛郡、山武郡(横芝光町は、旧横芝町に限る)、長生郡、香取郡、安房郡、夷隅郡大多喜町、茨城県取手市(旧取手市に限る)、稲敷市(旧稲敷郡東町に限る)、北相馬郡、稲敷郡河内町

## C O N T E N T S

- 1 ごあいさつ
  - 2 千葉信用金庫 理念／プロフィール
  - 3 地域社会と千葉信用金庫
  - 4 令和5年度の事業概要
  - 8 千葉信用金庫ビジョン／第8次中期経営計画
  - 10 総代会制度
  - 13 千葉信用金庫の組織
  - 14 TOPICS
  - 15 中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取り組みの状況
  - 19 千葉信用金庫の取り組み
  - 21 内部管理基本方針
  - 31 商品・サービス
  - 33 店舗一覧／店舗外ATMコーナー
  - 35 あゆみ
- 【資料編】
- 37 財務諸表
  - 43 経営指標
  - 46 業務報告
  - 53 連結情報
  - 60 自己資本の充実の状況等について
  - 78 役職員の報酬体系に関する事項

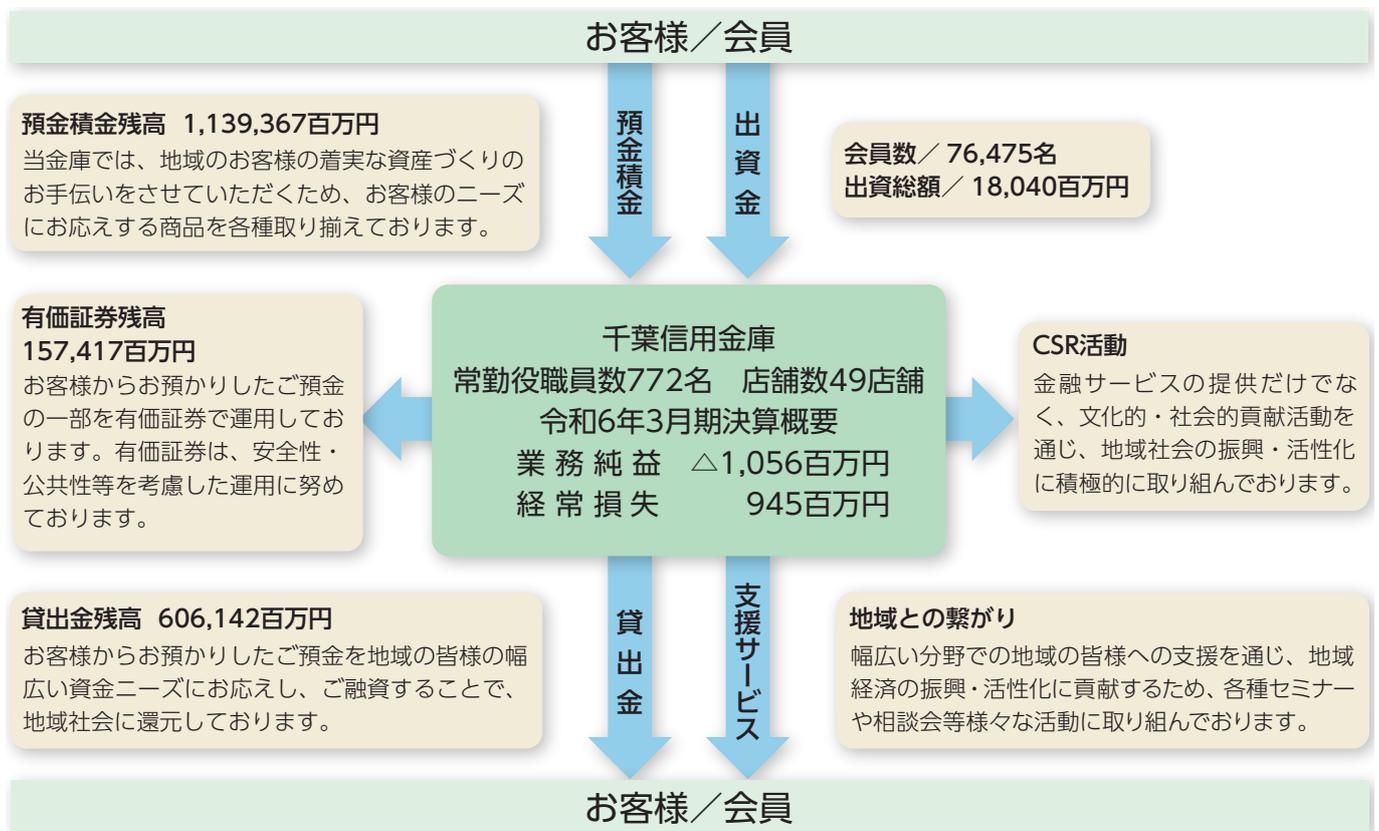
当ディスクロージャー誌は、信用金庫法第89条にもとづいて作成しております。計数は原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

# 地域社会と千葉信用金庫

千葉信用金庫は、地域の中小企業の皆様や地域にお住まいの皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の地域金融機関です。

地域のお客様からお預かりした大切な預金積金は、地域で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融サービスの提供にとどまらず、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



# 令和5年度の事業概要

令和5年度は、第7次中期経営計画「100年先への架け橋となれ」～輝くまなざし、導け未来へ！～の最終年度として、「営業力の強化」「組織力の強化」を計画の柱とし、それを達成するために3つの重点項目「顧客支援やサポートの深化」「期待に応える人材の育成・確保」「自ら考え果敢にチャレンジできる環境等の整備」を基本方針として掲げ、計画達成に向けて役職員一丸となって取り組ましました。

## 顧客支援やサポートの深化

当金庫とお取引をいただいている中小企業の課題は、販路拡大や人材の確保、コスト削減バランスシート改善等多岐に亘っており、また個人のお客様もライフステージに応じたニーズが多様化するなど、その一つ一つの課題やニーズに対し、お客様のことを第一に考え、お客様に寄り添って対応していくことが、地域金融機関であり、中小企業専門金融機関である当金庫の使命と考えております。令和4年度から開始したお取引先同士を繋ぐ庫内ビジネスマッチングである「ちばしんきんビジネスマッチングサービス」はマッチング情報の登録件数が1,793件、成約件数は196件となり、昨年度を大幅に上回る実績を上げることができました。

## 期待に応える人材の育成・確保

当金庫が地域やお客様に寄り添い、より効果的なお客様支援やサポートを行っていくためには、様々な分野における知識力やお客様を理解する力、そして実践の行動力が求められます。

令和5年度は、若手職員向けに課題解決型営業研修を実施し、課題解決活動への実践的理解を深めました。令和5年10月には、正職員を対象にスキル調査を実施、各職員の業務スキルの把握を行いました。これからその結果を職務ローテーションに反映し、不足スキルの習得を行うことにより、お客様からの期待に応えられる人材の育成に努めてまいります。

## 自ら考え果敢にチャレンジできる環境等の整備

令和4年度から本格運用を始めた「新人事制度」は、特に女性職員の活躍の場を拡げ、令和5年度においては、23人の女性営業担当者が誕生し、高いモチベーションを持って業務に取り組んでおります。

また、従前より取り組んでいる「営業店役員立候補制度」は職員間に浸透されており、向上心が高く、実務能力に秀でている若手職員が上位職位に登用されることにより、職場内の人的活性化が図られております。

## 主要な事業の内容

### 1. 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、譲渡性預金等を取り扱っております。

### 2. 貸出業務

#### (1) 貸付

手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。

#### (2) 手形の割引

銀行引受手形、商業手形および荷付為替手形等の割引を取り扱っております。

### 3. 有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

### 4. 内国為替業務

送金為替、当座振込および代金取立等を取り扱っております。

### 5. 社債受託業務

担保付社債信託法による社債の受託、公共債の募集受託に関する業務を行っております。

### 6. 附帯業務

#### (1) 代理業務

イ. 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店

ロ. 地方公共団体の公金取扱業務

ハ. 独立行政法人勤労者退職金共済機構等の代理店業務

ニ. 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務

ホ. 独立行政法人住宅金融支援機構等の代理貸付業務

#### (2) 保護預りおよび貸金庫業務

#### (3) 有価証券の貸付・売買

#### (4) 債務の保証

#### (5) 公共債の引受

#### (6) 国債等公共債および投資信託の窓口販売

#### (7) 保険商品の募集業務（保険業法に基づく保険募集）

#### (8) 電子債権記録業に係る業務

#### (9) 信託会社又は信託業務を営む金融機関の業務の媒介（内閣総理大臣の定めるものに限る。）

# 令和5年度の主な業績

## 預金

預金については、年金振込口座の推進を積極的に行うも、個人の消費活動の活発化等により、個人預金が減少し、令和6年3月期の預金積金残高は、前期比18億円の減少となる1兆1,393億円となりました。

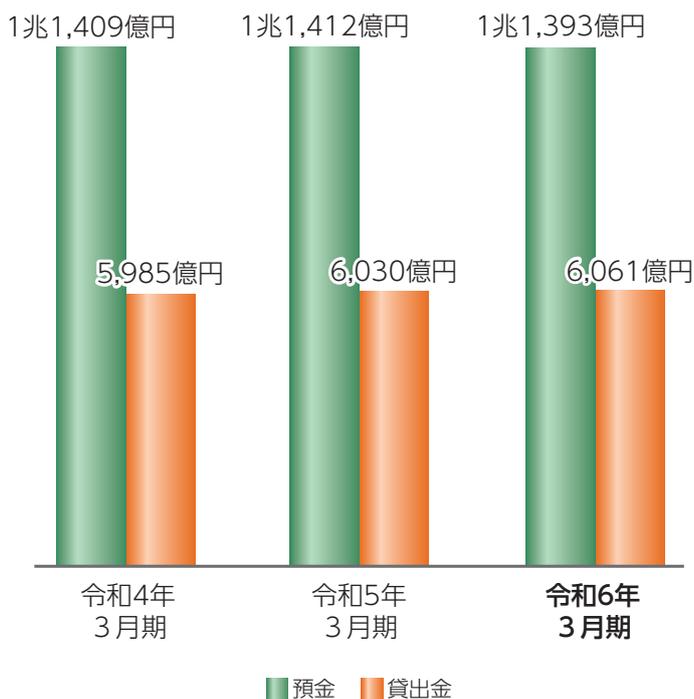
### <預金者別預金残高>

(単位：百万円)

	第99期 (令和4年3月31日)		第100期 (令和5年3月31日)		第101期 (令和6年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
個人	922,606	80.8%	921,772	80.7%	920,440	80.7%
法人	218,366	19.1%	219,433	19.2%	218,926	19.2%
一般法人	187,524	16.4%	192,855	16.8%	195,321	17.1%
金融機関	127	0.0%	64	0.0%	52	0.0%
公金	30,714	2.6%	26,512	2.3%	23,552	2.0%
合計	1,140,972	100.0%	1,141,205	100.0%	1,139,367	100.0%

## 貸出金

貸出金につきましては、昨年より取扱いを開始した「不動産業者向け商品物件仕入資金」や創立100周年事業の一環として令和5年9月より開始した「寄付賛同型事業性融資」の推進を積極的に行った結果、令和6年3月期の貸出金残高は前期比31億円増加の6,061億円となりました。



## &lt;貸出金業種別内訳&gt;

(単位：百万円)

	第99期 (令和4年3月31日)			第100期 (令和5年3月31日)			第101期 (令和6年3月31日)		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製造業	517	18,786	3.1%	504	18,108	3.0%	493	18,493	3.0%
農業、林業	35	378	0.0%	32	327	0.0%	31	356	0.0%
漁業	2	11	0.0%	2	10	0.0%	2	7	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	8	210	0.0%	8	257	0.0%	8	230	0.0%
建設業	2,229	64,450	10.7%	2,341	65,114	10.7%	2,387	63,935	10.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	24	616	0.1%	25	672	0.1%	29	1,048	0.1%
情報通信業	42	752	0.1%	41	837	0.1%	46	1,019	0.1%
運輸業、郵便業	288	16,163	2.7%	286	16,179	2.6%	291	16,061	2.6%
卸売業、小売業	1,426	47,780	7.9%	1,474	47,608	7.8%	1,499	47,059	7.7%
金融業、保険業	39	19,813	3.3%	42	21,082	3.4%	45	22,090	3.6%
不動産業	1,589	131,423	21.9%	1,608	134,631	22.3%	1,641	136,635	22.5%
物品賃貸業	38	3,358	0.5%	36	3,689	0.6%	37	3,799	0.6%
学術研究、専門・技術サービス業	66	1,232	0.2%	69	1,187	0.1%	68	1,054	0.1%
宿泊業	34	1,766	0.2%	33	1,906	0.3%	35	1,839	0.3%
飲食業	510	7,097	1.1%	512	7,254	1.2%	500	6,481	1.0%
生活関連サービス業、娯楽業	326	5,730	0.9%	335	6,011	0.9%	330	5,557	0.9%
教育、学習支援業	60	1,817	0.3%	63	1,798	0.2%	66	1,740	0.2%
医療、福祉	180	10,738	1.7%	179	12,263	2.0%	187	12,361	2.0%
その他のサービス	947	23,577	3.9%	1,005	23,734	3.9%	1,034	23,032	3.7%
小計	8,360	355,706	59.4%	8,595	362,674	60.1%	8,729	362,805	59.8%
地方公共団体	26	41,110	6.8%	26	36,595	6.0%	28	38,914	6.4%
個人（住宅・消費等）	26,779	201,685	33.6%	26,240	203,736	33.7%	25,527	204,422	33.7%
合計	35,165	598,502	100.0%	34,861	603,007	100.0%	34,284	606,142	100.0%

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

## &lt;住宅ローン・消費者ローン残高&gt;

(単位：百万円)

	第99期 (令和4年3月31日)	第100期 (令和5年3月31日)	第101期 (令和6年3月31日)
	金額	金額	金額
住宅ローン残高	174,269	175,737	176,244
消費者ローン残高	22,782	23,399	23,953

# 令和5年度の主な業績

## 損益状況

損益状況につきましては、令和6年3月期の経常収益は143億円を計上するも、先々の市場金利の上昇による有価証券の評価損の拡大を抑止するため、保有有価証券の一部643億円を売却し、有価証券売却損（債券5勘定戻）29億円を計上したことから、最終損益は15億円の当期純損失となりました。

なお、金融機関の本業の利益を示すコア業務純益は22億円を計上しており、収益力は安定しております。

## <直近5年間の主要な経営指標の推移>

(単位：百万円)

	第97期 (令和2年3月31日)	第98期 (令和3年3月31日)	第99期 (令和4年3月31日)	第100期 (令和5年3月31日)	第101期 (令和6年3月31日)
経常収益	14,537	14,165	13,512	15,240	14,331
経常利益	1,943	2,525	2,132	2,325	△945
当期純利益	1,292	2,267	1,877	2,381	△1,510
出資総額	18,592	18,491	18,345	18,209	18,040
普通出資金	8,592	8,491	8,345	8,209	8,040
優先出資金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
出資総口数	231,845,085口	229,827,800口	211,908,460口	199,180,110口	195,800,485口
普通出資金	171,845,085口	169,827,800口	166,908,460口	164,180,110口	160,800,485口
優先出資金	60,000,000口	60,000,000口	45,000,000口	35,000,000口	35,000,000口
純資産額	39,888	41,920	36,306	27,759	25,286
総資産額	1,122,878	1,192,540	1,192,757	1,175,320	1,170,347
預金積金残高	1,077,275	1,135,071	1,140,972	1,141,205	1,139,367
貸出金残高	566,876	599,943	598,502	603,007	606,142
有価証券残高	252,032	268,482	276,554	240,443	157,417
単体自己資本比率	7.89%	8.42%	8.15%	8.12%	7.56%
出資に対する配当金 (出資1口当たり)	193 0円83銭	192 0円83銭	163 0円77銭	144 0円72銭	— —
普通出資金 (出資1口当たり)	85 0円49銭	84 0円49銭	82 0円49銭	81 0円49銭	— —
優先出資金 (出資1口当たり)	108 1円80銭	108 1円80銭	81 1円80銭	63 1円80銭	— —
役員数	15名	14名	14名	14名	14名
うち常勤役員数	10名	9名	9名	9名	9名
職員数	801名	798名	794名	773名	763名
会員数	79,342名	78,821名	78,074名	77,428名	76,475名

※第99期に優先出資60,000,000口のうち15,000,000口の一部買入消却を実施しました。

※第100期に優先出資45,000,000口のうち10,000,000口の一部買入消却を実施しました。

# 当金庫が対応すべき課題

当金庫を取り巻く経営環境は、コロナ禍を脱却し、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲、株価の高騰等、経済には前向きな動きが見られるものの、原材料価格の高騰や人手不足等、地域経済にとっては厳しい側面も見られます。

どのような環境下であろうとも、当金庫が果たすべき役割は「地域に根差した金融機関として、お客様や地域が抱える課題の解決に尽力し、地域社会とともに歩み、経済・文化の発展に寄与する」ということには変わりはありません。

これからも当金庫とお取引をいただいている中小企業が多岐に亘る経営諸課題や個人のお客様のライフステージに応じた多様なニーズの一つ一つに対し、お客様に寄り添った対応を心掛けてまいります。

現在、当金庫の目指すべき姿を描いた「千葉信用金庫ビジョン」の達成に向け、令和6年度から第8次中期経営計画「未来は今、この瞬間から」を策定し取り組んでいるところです。

千葉信用金庫ビジョンおよび第8次中期経営計画については次ページをご覧ください。

# 千葉信用金庫ビジョン

金庫理念を踏まえ、平成30年4月に10年後を見据えた千葉信用金庫のあるべき姿として「千葉信用金庫ビジョン」を掲げ、到達すべき将来像として目指しております。

## 千葉信用金庫ビジョン

- (1) 地域社会やお客様との絆により選ばれる信用金庫
- (2) 総合力を発揮し、お客様の期待に応える営業体制
- (3) やる気と活力に溢れた、魅力ある金庫職員
- (4) 安定した収益力と、リスク耐性の高い経営基盤
- (5) チャレンジや変革を恐れない、ポジティブな組織

## 第8次中期経営計画

千葉信用金庫は、「千葉信用金庫ビジョン」を実現するために、第8次中期経営計画を策定し、役職員一丸となって取り組んでおります。

○計画名称

**「未来は今、この瞬間から」**

○計画期間

**4年間（令和6年4月1日～令和10年3月31日）**

### 1. 基本方針

第8次中期経営計画では、安定した顧客基盤を築くべく課題解決活動の深化を主体に取り組み、「営業力の強化」、「組織力の強化」をさらに深化させてまいります。また、外部環境の変化にも耐えうるリスク管理にも目を向けて堅固な財務体質の構築を図り、安定的収益力と持続可能な経営基盤の強化に繋げ、「千葉信用金庫ビジョン」の達成を目指してまいります。

#### 第8次中期経営計画 基本方針

##### 【3つの柱】

- I. 顧客基盤の拡充
- II. 人財力の強化
- III. リスク管理態勢の強化

# 第8次中期経営計画

## I. 顧客基盤の拡充

お客様の期待を超える課題解決活動を実践し、顧客サービスの充実を図っていきます。併せて、業務の効率化や地域特性を考慮した店舗運営を行い、営業力を強化し、顧客基盤の拡充を目指します。

- ①課題解決型営業の深化
- ②既存顧客の取引種類の拡大および純新規顧客の獲得
- ③業務効率化や店舗運営形態の見直しによる持続可能な組織体制の構築

## II. 人財力の強化

多様化するお客様のニーズ、課題を正確に把握し、お客様を第一に考えた解決策をお客様が気付く前に提案できるレベルの人財の育成を図るとともに、職員の誰もが能力を最大限活かせる働きやすい職場環境の構築を目指します。

- ①性差なき人財の活躍
- ②成長へのモチベーションを喚起できる教育訓練の実施
- ③働きやすい職場づくり
- ④積極的なチャレンジを促進する仕組みの構築

## III. リスク管理態勢の強化

内外環境を考慮のうえ、方針、内部規定、組織体制、リスク低減等を検討し、リスク管理態勢の高度化を図ることにより、想定困難な事象にも耐えうる堅牢な経営基盤の構築を目指します。

各種リスクへの対応

- ①信用リスク
- ②市場リスク
- ③流動性リスク
- ④レピュテーションリスク
- ⑤オペレーションリスク

## 2. 意識的に取り組む事項

「千葉信用金庫ビジョン」の策定時には顕在化していなかった様々な変化や課題に対して適切に対応していくため、以下の項目について意識的に取り組みます。

- ▶SDGs・ESG
- ▶GX 等

## 3. 内部管理態勢全般の強化

「千葉信用金庫ビジョン」では、当金庫が存続していくうえで欠かすことができない経営の土台となるべく普遍的な要素として、内部管理態勢全般の強化を掲げています。

第8次中期経営計画においても、盤石な内部管理態勢を構築するため、重要課題として取り組みます。



# 総代会制度

信用金庫は、株式会社の銀行とは異なり会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念とする協同組織金融機関です。会員は、出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。

しかし、実際は会員数が大変多いことから、全ての会員が参加する総会の開催は不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を代表する総代を地区ごとに選考し、総代による総代会制度を採用しております。

総代会は、決算事項の承認、定款変更、理事・監事・総代選考委員の選任等の重要事項を決議する当金庫の最高意思決定機関です。

したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されますよう、会員の中から適正な手続きを経て選任された総代により運営されております。

当金庫では、総代会に限定することなく、日常の業務を通じて会員の皆様とのコミュニケーションを大切にし、様々な経営改善に取り組んでおります。なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

## 総代の任期・定数

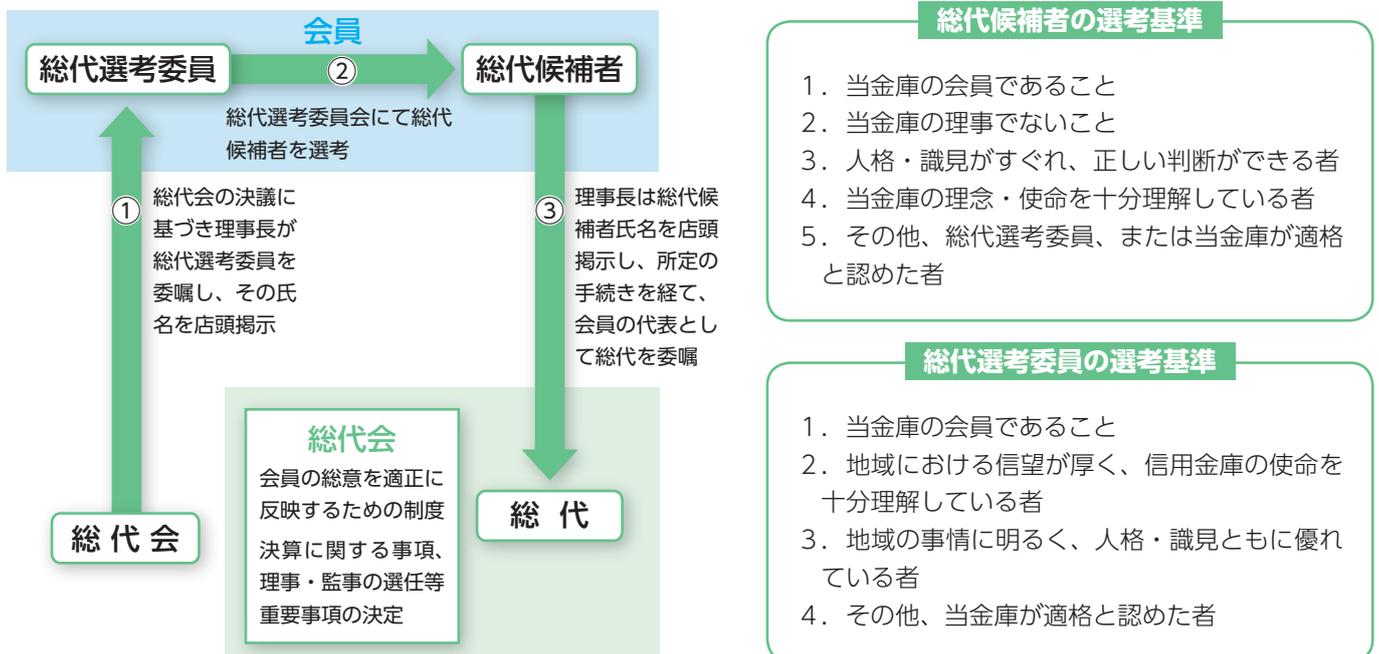
1. 総代の任期は3年です。
2. 総代の定年は75歳としています。ただし、任期中に定年を迎えた場合、任期満了をもって定年とします。
3. 総代の定数は120人以上150人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
4. 令和6年6月末現在の総代数は142名で会員数は76,359名です。

## 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映させる重要な役割を担っております。当金庫の総代の選考は「総代選考規程」に基づいて次の3つの手続きを経て選任されます。

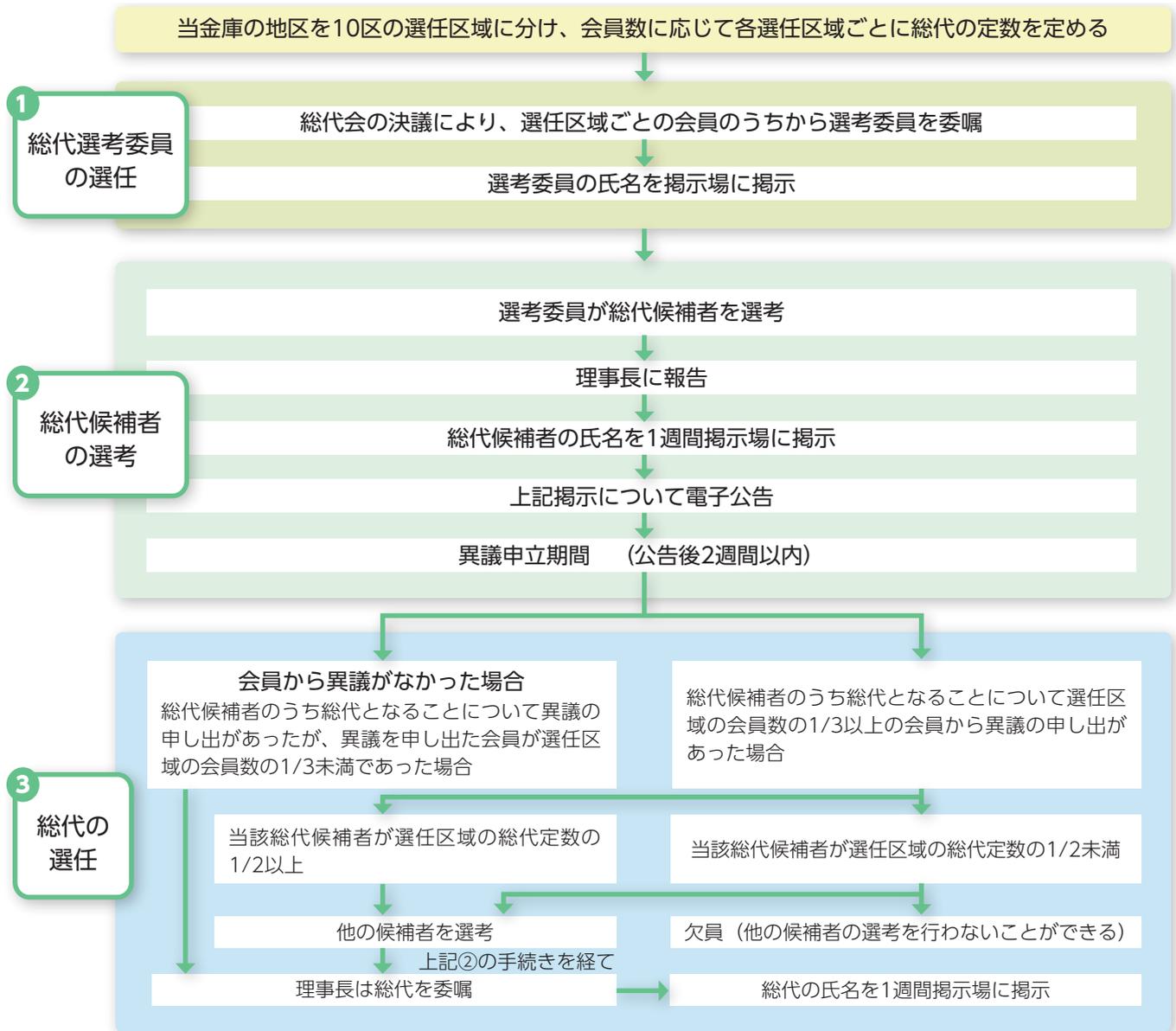
1. 会員の中から総代選考委員を選任する。
2. 総代選考委員が総代候補者を選考する。
3. 総代候補者を会員が信認する。

## 総代会の仕組み



# 総代会制度

## 総代が選任されるまでの手続き



## 第101回通常総代会の報告・決議事項

令和6年6月19日に開催された第101回通常総代会において、次の事項が付議され原案どおり承認されました。

- 報告事項
  - 第101期 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)
  - 業務報告、貸借対照表及び損益計算書の報告の件
- 決議事項
  - 第1号議案 第101期 (令和5年度) 剰余金処分案承認の件
  - 第2号議案 総代候補者選考委員の選任の件
  - 第3号議案 出資会員除名の件
  - 第4号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件
  - 第5号議案 退任理事・監事に対する退職金支払いの件



## 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名
第1区	25名	植草 裕一⑥、加賀 一明④、鈴木 吉晴⑥、関根 洋一⑥、塙 良太郎④、福井 晶一④、望月 泰伸⑥、内山 義衛⑥、水野 浩利⑤、石川 進一⑤、浦田 直門②、今井 和泉⑥、鈴木 敬二⑥、花澤 直輝③、藤代 忠実③、伊藤 和夫②、高橋 英之③、櫻木英一郎④、新城 早人⑤、秋葉 健夫⑥、荒川 幸②、戸村 聡⑤、本橋 英樹⑤、新留 宏範①、丹羽 誠①
第2区	13名	大越 一朋⑥、須藤 英文⑦、川島 良人①、黒川 恵史④、黒川 高男⑥、中根 亮一②、佐藤 肇③、佐藤 宣仁②、佐藤 康弘②、伊藤 政義⑤、篠崎 正二②、牧野 準⑨、迎 一彦①
第3区	9名	黒子 恭伸⑨、森元 一隆③、三橋 治久⑥、池田 潔①、栗原 健一①、栗原 清彦③、林 留夫②、岡本 信夫①、鈴木 良夫⑤
第4区	19名	大矢 仁③、角谷 太一①、宮崎 勝己⑥、守屋謙一郎④、山崎 克哉④、原地 利忠⑨、深山 康彦⑥、宮寺 由貴③、秋元 保次①、上村 輝男⑤、千葉 祐巨③、夏井宏一郎③、始関 太郎①、西村 直樹①、長田 博正①、原 藤一⑥、関野 誠治②、鶴山 孝行②、須田 和道②
第5区	8名	浜名 洋一③、茂木 和仁③、松本 央②、露崎 利行⑤、前田慎太郎②、蛭田 憲広②、進藤 通孝⑦、矢田 高裕②
第6区	15名	宮崎 際①、折戸 豊輝①、石川 純一③、元吉 和江③、木内 定雄⑥、鬼頭 俊裕①、石井 知明③、鈴木 竹男⑥、山村 兼二⑨、渡部 正和①、三枝 正和③、多田 公俊④、齋藤 治男③、竹本 秀幸③、青木 和義③
第7区	12名	齋藤 良一⑦、苅込 昌俊①、野村 進一⑥、秋元 直人⑥、磯部 友昭①、平野 寛明④、宮 邦洋③、津田 哲也①、梶尾憲一郎③、鈴木 正行③、松崎 哲也①、安田 学①
第8区	8名	榎本 守男⑨、岡田 良弘⑥、高橋 裕之①、藤江 貞晴③、藤野健次郎③、石綿 礼敏②、笠原 文善②、森田 勝則④
第9区	21名	山本 豊一②、近藤 正之②、倉田 知広③、田中 健一②、石橋幸太郎①、石渡 孝春④、長谷川吉昭⑧、平山 秀樹⑤、宮崎廣一郎④、宮村 亮祐①、藤崎 秀幸②、市沢 裕明②、石戸 謙一⑤、森田 修司①、中村 眞一⑨、眞仲 廣明⑨、岡山 一夫③、香取 信靖②、横田 浩昌③、菊川 一平②、平野 伸一①
第10区	12名	荒木 大輔①、高木 秀夫⑤、蓮見 高円①、生形 健一①、福田 昌広⑥、眞行寺純一①、小川 保②、榎原 吉明①、地引 聡一①、渡邊 大介①、内田 博道⑥、藤崎 祥弘⑨

氏名後の数字は総代就任回数（平成14年1月合併以降）

（令和6年6月末現在／敬称略・順不同）

## 選任区域

（敬称略）（順不同）

選任区域	地区	総代候補者選考委員
第1区	千葉市＜中央区、若葉区、緑区＞	望月 泰伸 水野 浩利 鈴木 敬二
第2区	千葉市＜稲毛区、美浜区＞ 四街道市	須藤 英文 黒川 高男 佐藤 肇
第3区	千葉市＜花見川区＞ 習志野市、船橋市、八千代市、市川市、鎌ヶ谷市、浦安市	黒子 恭伸 鈴木 良夫 森元 一隆
第4区	市原市、夷隅郡大多喜町	山崎 克哉 上村 輝男 始関 信夫
第5区	袖ヶ浦市	露崎 利行 進藤 通孝 茂木 和仁
第6区	木更津市	鬼頭 薫 山村 兼二 多田 公俊
第7区	君津市	眞田 雄司 野村 進一 秋元 直人
第8区	富津市、館山市、鴨川市、南房総市、安房郡	榎本 守男 岡田 良弘 藤江 貞晴
第9区	成田市、佐倉市、白井市、松戸市、流山市、柏市、我孫子市、印西市、香取市（旧佐原市に限る）、印旛郡、茨城県取手市（旧取手市に限る）、稲敷郡河内町、北相馬郡	石橋 菊太郎 石戸 謙一 眞仲 廣明
第10区	八街市、富里市、東金市、茂原市、山武市、旭市（旧香取郡干潟町に限る）、大網白里市、香取市、山武郡（横芝光町は旧横芝町に限る）、長生郡、香取郡、茨城県稲敷市（旧稲敷郡東町に限る）	荒木 由光 榎原 正男 内田 博道

## 総代の属性別構成比

職業別	法人役員95.0%、個人事業主2.8%、個人2.1%
年齢別	70歳代22.5%、60歳代36.6%、50歳代29.5%、40歳代10.5%、30歳代0.7%
業種別	鉱業、採石業、砂利採取業0.7%、建設業24.6%、製造業7.0%、運輸業、郵便業3.5%、卸売業、小売業19.7%、金融業、保険業1.4%、不動産業、物品賃貸業15.4%、学術研究、専門・技術サービス業2.1%、宿泊業、飲食サービス業2.8%、生活関連サービス業、娯楽業2.8%、教育、学習支援業4.2%、医療、福祉0.7%、複合サービス事業7.7%、サービス業3.5%、公務0.7%、分類不能の産業2.8%

※業種別の構成比は、法人代表者、個人事業主に限る。業種は日本標準産業分類の大分類に準ずる。

# 千葉信用金庫の組織

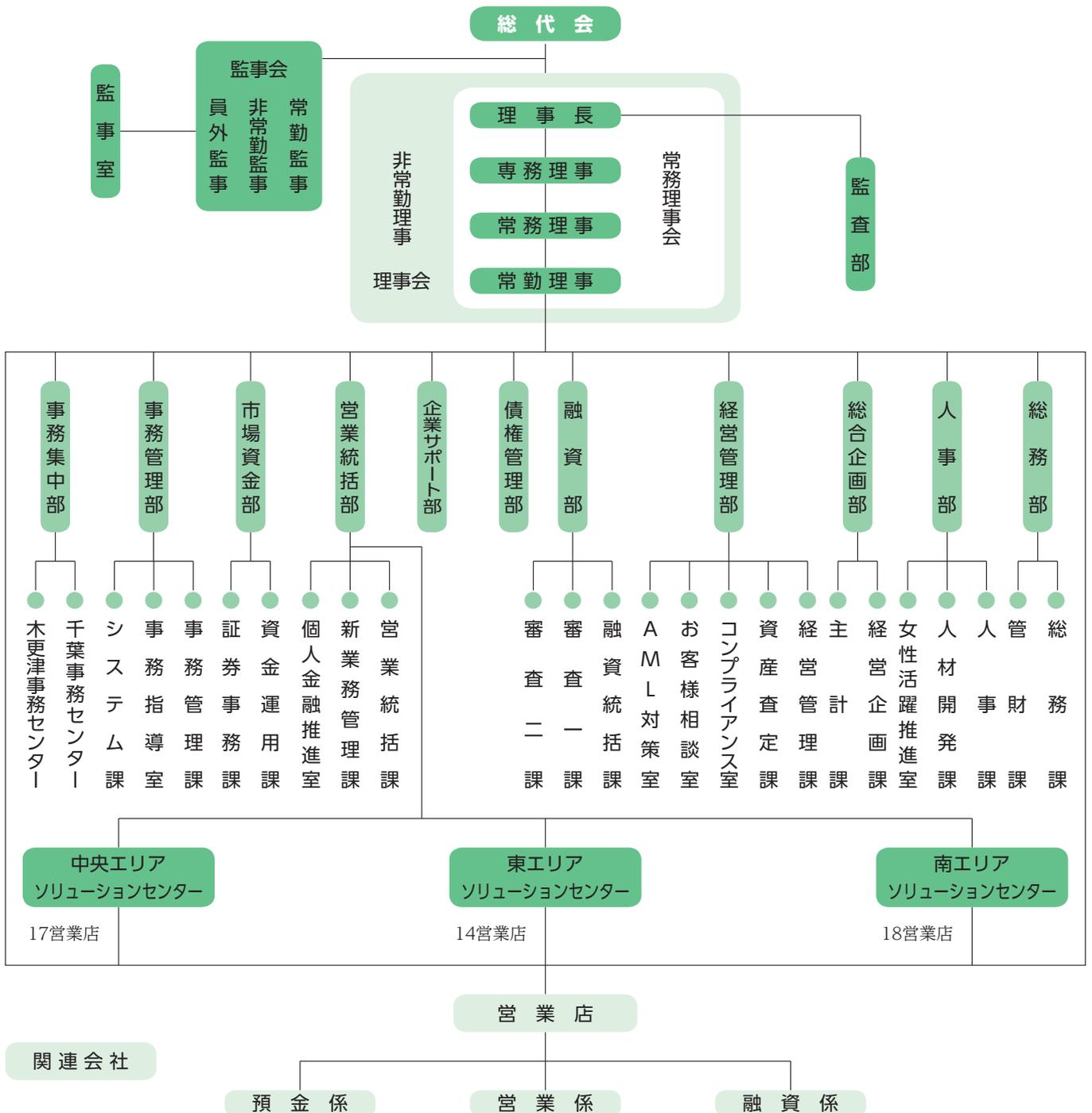
## 役員

(令和6年6月末現在)

理事長	宮澤英男	常勤理事	田岡政信	理事	比企真
専務理事	落合謙 <sup>(※1)</sup>	//	酒巻康史	//	奥山敬二 <sup>(※1)</sup>
//	保科和彦	//	野口剛 <sup>(※1)</sup>	常勤監事	足立進
常務理事	中村裕二	//	根元幸子	監事	榎本雅也
//	石橋英樹	理事	平野恵子 <sup>(※1)</sup>	//	志村隆 <sup>(※2)</sup>

※1 専務理事 落合謙、常勤理事 野口剛、理事 平野恵子、理事 比企真、理事 奥山敬二は、信用金庫業界の「総代会機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。  
 ※2 監事 志村隆は信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

## 組織図



営業店 全49店舗  
令和6年6月末現在



## 誉田支店の新築移転



地域のお客様へのサービスと利便性の向上を図るため、誉田支店は令和5年11月20日より新店舗での営業を開始いたしました。

新店舗は、白を基調とした店内外を明るく入りやすい店舗デザインとし、地域の皆様に愛される店づくりとしております。

SDGsの取組みの一環として、クリーンエネルギーを活用すべく太陽光発電を導入したほか、環境に配慮したりサイクル可能な建材・内装材などを随所に使用した店舗となっております。



## 特殊詐欺の被害防止に向けた取組み



当金庫職員がお客様の特殊詐欺被害を未然に防止したとして、清見台支店職員が地元警察署より感謝状を授与されました。

